

回覧

発行:余市協会病院  
発行日:令和5年1月1日  
発行人:吉田 秀明  
編集人:広報委員会  
お問い合わせ:0135-23-3126

VOL.216 1月号

# 新たな年を迎えて

(福) 北海道社会事業協

余市病院 院長 吉田秀明

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、師走に入るやいきなり真冬となったり、クリスマスには雨が降ったりと、ここ十数年の「乱暴な気候」そのものでしたので、心身の状態を健康に保つのが難しかったのではないかでしょうか。せめて新たな年は人に優しい気候になってくれることを願っております。

さて、令和も早5年となりました。皆様御存知のように改元の翌年、令和2年からは新型コロナウィルス感染症に翻弄され、まさに瞬く間に3年が過ぎ去った感があります。さらに一年前からはロシアが宣戦布告無しで戦争を始めたため、侵略を受けているウクライナはもとより、世界中が甚大な負の影響を受け、今なお混沌とし先が見通せない状況にあります。そのような世界的な視点から見るととても小さなことではありますが、新年を迎えるに当たり、余市病院の今後の方向性などをお示ししたいと思います。

まず一番目はやはり新型コロナウィルス感染症についてです。昨年11月から過去最大規模の第八波に見舞われ、おもに幼児～学童、学生への感染が爆発しました。それに伴い、家庭内感染・接触も拡大し、出勤できなくなった家族の方々も多数おられたことと推察されます。そのような状況ですが、幸い重症化率は低く、経口治療薬なども普及したことなども考慮され、この3月には感染症の「2類（SARS、MERS、結核、ジフテリアなど）相当」から「5類（麻疹、風疹、季節性インフルエンザ等）相当」に引き下げられる見込みが濃厚となっています。つまり「普通のインフルエンザ並み」の扱いにしましょうということです。これを受けて余市病院でも、3つある病棟のうち一つをコロナ病棟としてきましたが、この4月を目処に従前の3病棟体制に戻す計画を立てています。ただし新型コロナウィルスがこの世界から消えてなくなるわけではありませんので、隔離が必要な感染症用に新たな病室を整備し、柔軟に対応できるよう準備いたします。

(裏面につづく)

(表面からのつづき)

二つ目は救急棟の新築です。現在の救急室搬入口は正面玄関に隣接しています。ですから救急車も正面玄関前に着くことになり、一般利用者の方々の出入りに支障が及んでいること、被搬送者のプライバシーが守られにくいこと、また設計が30年前ですので、狭く使い勝手が良くないという事情があります。加えて、いわゆる「発熱外来」は、これまで仮設建屋で行ってきましたが、今後も恒常的に対応する必要があることから、これを併設しようというものです。そこで名称は「救急・感染症コントロールセンター（仮）」という感じになります。新棟建設場所は正面玄関の正反対側、西側の緑地（築山のあるところ）です。建築資材の高騰や入手困難など、戦争の影響をもろに受けましたが、設計はすでに完了し、年内の完成を目指しています。

三つ目は、院内環境整備（改修）です。これは、トイレの洋式化、介助浴室移設増築、透析室拡充、がメインの工事になりますが、感染症に対応するために職員休憩室・学習室の拡充も含まれます。病棟トイレの一部と外来トイレの改修はすでに終了しました。今まで狭い和式トイレでご不便をおかけして心苦しかったのですが、洋式化後は利用者の方々から好評をいただいております。今後も利用者様と職員に対する環境改善の取り組みを隨時行っていく所存です。もしお気づきの点などございましたら、お教えいただけますと幸いです。

最後になりますが、余市病院は北後志5ヶ町村・住民皆様のご理解と御支援の元に健全運営が可能となっています。

ここでお願いしたいことは、人が住みたくなるような、例えば移住者が増えてくるような地域づくりをさらに推し進めていただきたいということです。

なぜなら病院を機能させるのはおもに国家資格をもった「人財」（医師、看護師、技師、療法士、など）だからです。過去20年以上前から厚労省の施策（2025年問題と少子高齢化を見据えた医療資源の集約と効率化）により、これら人財は都市の大病院に集中するように誘導されています。中央の見識者から見ると余市病院は、その施策に逆行している愚かな病院になります。このため病院の努力だけでは人財を揃えることが極めて困難です。そこで医療人に移住を含めた興味をもたれる（総合的魅力と小中校の学力アップ）地域として全国上位に認識されることが是非とも必要と考えています。「人口が減少しない地域作り」に病院も積極的に協力させていただきますので、住民の皆様方にもさらなるご指導・御鞭撻を賜りますようお願いいたします。

令和5年 元旦



**救急件数 (11月)**

外来受診 129件 うち入院 22件  
救急車来院 77件 うち入院 27件